

民医連
代々木歯科コーナー
連載



—その140— 歯科医師 上田英範

歯間ブラシ、正しく使えますか？

しばしば、患者さんから歯間ブラシを使っているのに磨けていないと言われてしまったと話される方がいます。お話を詳しく聞くと、大体の方が歯間ブラシを一回しか通してないと言われる方がほとんどでした。

今回は歯間ブラシの選び方と使用方法についてお伝えします。まずは選ぶ方ですが形は真つすぐなものでナイロン製の毛が



今回は歯間ブラシの選び方と使用方法についてお伝えします。まずは選ぶ方ですが形は真つすぐなものでナイロン製の毛が... (Text continues with details on brush selection and usage, including advice on size and technique.)

病院経営がピンチ！
緊急学習会を開催

はたがや協立診療所



診療所待合室で学習会

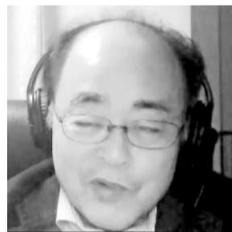
1月31日、はたがや協立診療所の待合室で、はたがや健康あゆむ会主催で「今、病院経営がピンチ!!」緊急学習会が行われ、13人が参加しました。代々木病院の田腰事務次長が学習会の講師を務めました。

学習会では、深刻な医療機関の経営実態、物価高による経費の増大とそれに見合わない診療報酬の低さが、医療経営の悪化と地域医療崩壊の危機をもたらした原因であること、国の責任で医療機関を守らせるために世論と国を動かした民医連を始めとした医療従事者の運動、今後の医療改悪の動向について話されました。民医連緊急署名などでさらに世論を広げる、また、政治を変えるための総選挙での投票行動など呼びかけられました。

話しを聞いた後、参加者から薬代の追加負担についての質問や「医療機関が大変なことになっていることを初めて知った」など、さまざまな声が出されました。

生活保護基準裁判
最高裁判決に学ぶ

人権としての
生活保護制度を考える



吉永純氏(講師)

2月16日、東京民医連主催「人権としての社会保障運動交流会」が開催され、「人権としての生活保護制度を考える」というテーマで基調講演を聞きました。

吉永純氏(花園大学社会福祉学部教授)を講師に「現代の貧困と生活保護の在り方」生活保護基準裁判最高裁判決」について学びました。

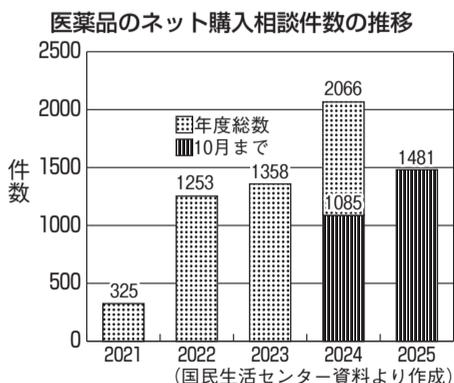
は、生活保護基準の大幅引き下げは「健康で文化的な生活」を保障した憲法25条違反であると訴え、生活保護利用者が国と自治体に対しておこした裁判です。2025年6月27日、最高裁は上告審において「保護基準引下げは『違法』」との統一判断を示して原告勝訴の判決を言い渡しました。

認め、生活保護法違反であると断罪しました。吉永氏は、「いの中のとりで裁判」の最高裁判決の意義について、①生活保護基準を争点とした裁判として歴史的な勝訴であり、基準生活費の額が争いになった裁判での勝訴は1960年10月の朝日訴訟一審判決以来の勝訴で、さらに最終審である最高裁の勝訴であったこと、②生活保護基準という国の根幹的政策における厚生労働大臣の誤りを最高裁が認めた事、生活扶助基準は国が認めるだけでも47の低所得、福祉施策に影響するナショナルミニマム(国民的最低限。市民誰にでも保障される生活水準)が争点となった裁判であることなどを強調しました。

「このちのりで裁判」は保護費引き下げのために、物価下落率を大きく見せる「デフレ調整」を行いました。最高裁判決では、社会保障審議会の生活保護基準部に諮(はか)らず、専門的な検討も行わなかった厚労大臣の裁量権の逸脱と乱用があったと

サプリメントに
頼らない生活

薬剤師 藤竿伊知郎 (元外苑企画商事)

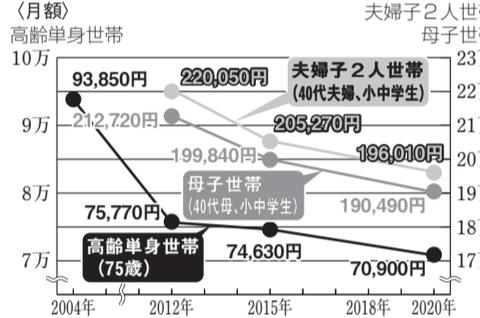


消費生活センターに寄せられる医薬品の定期購入トラブルが増えている。国民生活センターが1月14日、注意を呼びかけました。近年、「お試し」のつもりで買った、実は定期購入の契約だったという被害が相次いでいます。以前はダイエット食品やサプリメントで多かったトラブルですが、2021年度からは医薬品での相談が急増。被害者の8割が60代以上の高齢者です。実際の相談例を見てみましょう。

70代の男性は「水虫薬が今だけ半額」という広告を見て注文したところ、商品が4個届きました。業者にお問い合わせると、4個ずつ届く定期購入になっており、2回目の購入以降は解約できるが初回は不可と言われました。注文時の画面は残していませんでしたが、同じ広告を確認する

告を確認すると「単品1回限り」と書かれていました。また60代の女性は、動画サイトで見た「手足のしびれに効く医薬品」をお試しのつもりで購入したところ、定期購入に入ったら、定期購入になったと気づきました。薬剤師や「消費生活センター」に相談し

【生活扶助費の推移】(1級地1、各種加算あり)



生活保護に対する偏見や差別的課題はまだ多くの課題を残しています。吉永氏は「一分断や対立に陥らず10数年のたたかいで培った団結と連帯をまもり、ともにがんばりましょう」と結ばれました。

青空健康チェック

鳩森神社



4人の方が健康チェック

2月12日の昼、鳩森神社前で健康チェックを病院、友の会、渋谷区社会福祉協議会(社教)の職員と一緒にしました。血圧測定と健康相談は3階病棟の古原看護師が担当しました。寒い時期の実施でしたが、4人の方が健康チェックを測定し、社協の福祉相談も1件ありました。